

# 迎春

## 年頭所感



新年明けましておめでとうございます。輝かしき新春を迎え、本年が皆様にとって、幸多き年となりますよう、心より祈念申しあげます。

ところで、昨年は国内外において大きな自然災害や、悲惨な人災等が多数発生し、改めて安全対策の是非が厳しく問われる一年でありました。特に、残虐な児童殺害事件や、耐震構造偽装事件にいたっては、全く常識では考えられない犯罪であり、これが身近な中で起こっていることに、強い衝撃を覚えずにはおられません。

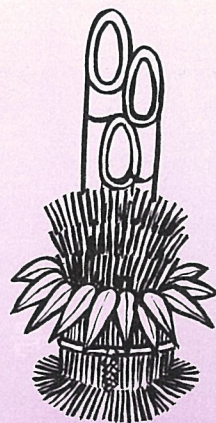
町としても、町民の皆様に「安全は、他人から与えられるものではなく、自らが築き、地域の人々と共同して守っていくべきものである」という自覚を促す一方で、これまでの安全対策を検証し、より実効性のあるものに改めてまいります。日本一安全な町づくりを、目指したいと考えております。

さて、本年は三月二十七日に新町「横芝光町」が誕生する記念すべき年であります。私は、今日まで光町の総仕上げと、新町のスムーズな立ち上げを最大の課題として、真正面から取り組んでまいりました。お蔭様で、町民の皆様のご理解、ご協力をいただき、各般に亘ってほぼ計画通りの事務・事業の展開ができたと考えております。行政委員の皆様を通して要望のあった身近な問題に積極的な対応をする一方で、図書館ギャラリーの開設によって、これからの文化活動の方向性を定め、更に、時代の要請に添ってサッカー場の建設を行い、青少年の健全育成、観光事業への布石も打てたと思っております。

光町長 齊藤

藤

譲



また、待望久しかった銚子連絡道路の「横芝光インターチェンジ」の開通は、間違いなく三月末までにはできる見通しとなったことは、光町の最後を飾るに最も相応しい、運命的な出来事になると思います。更に、この周辺の活用計画も、町が取り組むべき先導事業は、計画も固まりつつあり、新町に引き継ぎ早期にオープンすべく最後の詰を急いでおります。なお、当インターチェンジの休憩施設として、銚子連絡道路の八日市場までの第二期工事期間中に整備していただくよう県に強く要望いたしております。この他、町が進めている幹線道路の整備は、総て新町に引き継がれて施行されることに決定いたしました。本庁舎となる現光町役場の改修も進み、行政事務の準備も計画通り進んでおりますので、町民の皆様にはご安心いただくと同時に、新町に対しても今まで以上のご協力を心からお願い申し上げます。

来る三月二十六日には、光町が閉町いたします。私は、五十二年間町民を育んでくれたふるさと光町、そして、これを築いてくれた先人、先輩に、万感の思いをこめて「有難う」の一言を捧げたいと思っております。